

「人権のひろば」  
 に対するご意見、  
 ご感想は広報広聴  
 グループまたは、  
 人権室までお寄せ  
 ください。

## HIV感染について 正しい知識を 身に付けてみませんか

12月1日は「世界エイズデー」です。この機会にエイズを取り巻く現在の状況を知り、エイズやHIV感染者について正しい理解を深めてみませんか。

エイズはヒト免疫不全ウイルス（HIV）が原因の感染症です。HIVに感染すると、3〜10年ほどの間に免疫機能が徐々に低下し、エイズを発症します。発症すると、免疫機能に大切な細胞が体の中から徐々に減り、普段は感染しないような病原体による、さまざまな病気にかかりやすくなります。昔は死に直結する病でしたが、現在は医療の進歩もあり、適切な治療を受ければ非感染者と同じくらい長生きできるようになりました。また、昔は大量の治療薬を1日に何回も飲む必要がありましたでしたが、

現在では1日1回1錠の服薬でエイズの発症を抑えることができるようになりました。HIVの感染力は非常に弱く、感染者と日常生活を送ったとしても感染しないことも分かっています。

一方、内閣府の世論調査（※）ではいまだに5割以上の人が「死に至る病である」という印象を持っており、3割近くの人が「原因不明で治療法がない」と思っています。また、「握手やキスで感染する」「蚊を媒介して感染する」など間違った情報を信じている人もいますが、このような行為では感染しません。

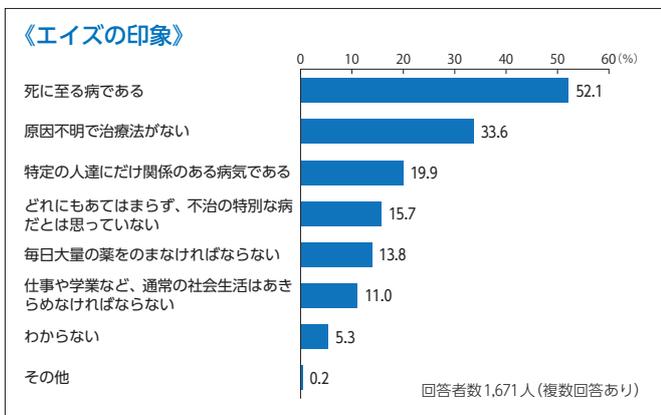
HIV感染者に対する偏見は根深く、HIVに感染していることを理由に内定を取り消される、福祉施設の入所を拒否される、また、医療機関に診療を拒否されるなどの事例があります。これらは間違った認識から起こるものであり、あってはならないことです。

HIV感染者は偏見・差別と日々戦い続けています。こうした偏見・

差別をなくすためには、私たち一人ひとりが、HIV感染について正しい知識を持つこと、また、患者、その家族などが置かれた立場を日頃から理解しようとすることが大切ではないでしょうか。



※ 2018年1月内閣府世論調査



## 生活安全 だより

シリーズ  
 210

海外から届いた  
 身に覚えのない荷物  
 相談概要

相談概要

私の名前と住所が書いてある荷物が郵便受けに入っていた。請求書の同封はなく海外の事業者からのようだ。家族も知らないと言いつつ、ネット通販は利用しているが、海外から届く荷物はない。

アドバイス

突然、海外から荷物が届いても慌てずに、家族が注文した商品や贈り物などではないかを確認しましょう。

国内のネット通販やカタログで注文した商品でも、海外から配送されて届く場合があります。

未開封の荷物は、受け取り拒否ができることがあるので、覚えがなければ、配送業者に相談をしてください。安易に海外の発送元に返送すると、模倣品など中身によっては、関税法上の問題になる場合があります。

開封してしまっても、注文していない商品でネガティブオプション（送り付け商法）に該当すれば、原則2週間保管したあとは商品を自由に処分することができます。判断が難しい場合もあるので、不安に思ったら早めに消費生活センターに相談をしてください。

消費生活センター ☎ 870・0492  
 （土・日曜日、祝日を除く）

